

目 次

特別記事

将棋と馬 谷川浩司 1

第 34 回学術集会 シンポジウム

東京五輪大会馬術競技での馬のウェルフェア！ ～馬の安全と安心を確保するために～

Part 2：講演会

競技馬のバイオセキュリティー

～東京 2020 大会会場内における実際～ 山中隆史 4

競技の獣医事とドーピング検査

～2021 年東京オリンピック・パラリンピックはこうして行われた～ 天谷友彦 12

オリンピック馬のフットケア (No clip, アルミ, プラスチック, ハダシ！)

～装蹄事情とスポーツ装蹄の実態～ 藤平克彦 19

会員通信

山口洋史の騎馬像巡り 山口洋史 25

お知らせ

..... 27

協賛団体・賛助会員名簿

..... 28

編集後記

Hippophile No. 90

- 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長 楠瀬 良 (日本装削蹄協会)

編 集 委 員	阿部 憲二 (全国乗馬倶楽部振興協会)	戸崎 晃明 (競走馬理化学研究所)
	荒川由紀子 (農林水産省)	永井富美子 (エディター)
	有吉 正徳 (朝日新聞社)	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	北野あづさ (日本馬術連盟)	古林 英一 (北海学園大学)
	木村李花子 (東京農業大学)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 高志 (JRA 競走馬総合研究所)	山下 大輔 (日本馬事協会)
	末崎 真澄 (馬の博物館)	山本 真広 (地方競馬全国協会)
	関 正喜 (ジャーナリスト)	

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899 年 49.8×34.1 センチ多色刷り

リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science